

# 米商進路だより

令和5年10月6日発行  
山形県立米沢商業高等学校  
進路指導部（第20号）

## 《 DX？ 》

令和5年10月3日に米沢産業高校（仮称）の正式名称が山形県立米沢鶴城高等学校と発表されました。両校および地域の歴史と文化や産業を踏まえ、伝統ある産業教育を受け継ぐ学校をイメージして決定したと報道されています。今後、校歌・校章・制服等が決まるものと思われ、統合に向けて更に動きが加速していきます。1年生の皆さんは「米沢鶴城高校」の最初の卒業生ということになります。

さて、10月5日（木）に米沢工業高校で、地域の仕事や働くことの魅力を知ってもらうためのWAKU WAKU WORKに参加をしてきました。置賜管内36社、建築・製造・金融・美容・販売・介護等の業種の皆様から参加をいただき、企業の魅力を知ることができて良かったと思います。1年生の一人ひとりの真剣な眼差しは“キラリ”と光るものがあり、企業の皆様からは一所懸命な姿を評価していただきました。

令和5年度のキャリア教育における両校の交流会は終了となりますが、次年度以降「キャリア探究」のカリキュラムを見据えて、両校で一緒にできることを模索していきます。新高校の開校には大人の考えだけでなく、生徒会主催の学校行事や新しい発想の校則等、高校生（両校の生徒会代表）の視点からの想像力を活かすことができれば、大いに魅力のある学校になるものと確信しています。

ところで、3年生の学校推薦型選抜の受験が本格化、10月4日（水）には模擬面接会を実施し意識の高揚を図りました。志望の動機はもちろんですが、学校生活の中での学習や部活動だけでなく、ボランティア活動等について問われることがあります。志望校を卒業後の自分の姿を描くことも大事なことです。将来の自分への投資をする訳ですので、明確な理由を聞かれるのは当然のことだと思ってください。



3年生模擬面接の様子

皆さんはDXという言葉を見たり聞いたりする機会が増えたと感じませんか。DXは「デラックス」ではありません。DXとは「Digital Transformation」の略称でデジタル技術を活用して業務プロセスを改善し新たな価値を生み出すことです。「DT」ではなく「DX」と標記されるのは、英語圏では交差するという意味を持つ「trans」を「X」と略す習慣があるためです。覚えておくと入試に役立つかもしれません。

## 《 WAKU WAKU WORK での学び 》



米沢工業高校体育館で実施 (R5. 10. 5)

## 《 私の高校時代 No2 》

高校時代には、全く先のことは考えていなかったような気がします。時代はバブルだったので、漠然と、なんとかやるでしょうと思ってたんでしょうね。とりあえず受験勉強を頑張って大学に行こうとしていました。(本当に、気が狂いそうになるほど勉強しました。)ただ単に、大学生になって遊びたかったんでしょうね。その結果、大学に行っても授業には全く興味が持てず、学校に行かなくなりました。そして2回も留年しました。ちなみに大学卒業後は、卒業前から勤務していた運送会社にそのまま勤めて、大型車やトレーラーで長距離運転手をしていました。その後、仕事を転々とし、自分が何をすべきなのか模索しています。

高校時代は毎日ヘトヘトになるまで部活をこなし、気付けば3年の夏。周りは将来の進路実現に向けさまざまな活動を始めていました。親からのプレッシャー、先生方の困った顔、けど、なかなかしたいことが決まらない自分に嫌気が差しつつ、結局夏休みが終わっても進路は決定していませんでした。その時に、自分の高校3年間を振り返ってみると頑張ったことは部活。そこから部活で進学先を決め、たまたま学部経営があったため商業の学び直さだろうと思って経営を選び、4年間学んでいくうちに今まで高校で学んだこととは別の商業についての価値観が生まれ、今の職業に繋がっています。今になって思うのは、何か打ち込めることを見つけ自分の力にすることの大切さ、さまざまな体験活動に積極的に取り組むことで視野を広げることができるのは高校の時だけだと思います。新しいこと、知らない世界のことに興味を持つことを大事にし、高校生活の経験すべてを自分の財産にしてください。